

1

都島区将来ビジョン 2030（案）パブリックコメント結果と対応

1 実施概要

- (1) 募集期間 令和 8 年 1 月 9 日（金）から令和 8 年 2 月 9 日（月）まで
- (2) 募集方法 送付（郵送等）、ファックス、メール、持参、インターネット
- (3) 閲覧・配架場所
- ・都島区役所 1 階区民情報コーナー（都島区中野町 2-16-20）
 - ・都島区役所総務課（政策企画）1 階 10 番窓口（都島区中野町 2-16-20）
 - ・都島保健福祉センター分館（都島区中野町 5-15-21）

2 実施結果

- (1) 集計結果 受付通数 3 通（延べ 10 件のご意見）
- (2) 内訳

総受付件数	持 参	送 付	ファックス	電子メール	インターネット
3	0	1	0	1	1

- (3) 「都島区将来ビジョン 2030（案）」にかかる延べ意見数 10 件（延べ）の内訳

めざすべき将来像の該当分野等	件数（件）
全般・基本理念等	3
1 安全・安心のまち	2
2 人がつながり・いきいきと暮らせるまち	2
3 子どもが輝くまち	1
4 明日に誇れるまち	2
計	10

3. 寄せられたご意見と都島区の考え方

次ページ以降に記載

1

都島区将来ビジョン 2030（案）パブリックコメント結果と対応

	戦略	ご意見等	都島区の考え方
1	全般 P15~23	<p>・将来ビジョン 2030（案）について、まず、現計画の評価・検証を行ったうえで、新たなビジョンを策定することが必要かと思うが、そのあたりの内容が反映されているように見受けなかった。区民の 1 人として、同じような内容を単に時点修正したものしか見えず、総花的でポイントなどもよくわからなかった。この 5 年間の検証や今後 5 年間は特にどこを重点的に取り組むかなどの特徴を示すべきと考える。</p> <p>・4 つの柱について、めざすべき将来像を項目ごとに「○○○状態」として掲げている。今後、進捗管理などもされる中、そこに近づいているかなどをどのような物差し（数値など）で評価されるのか、現計画は成果指標を示されているように、だれが見ても一目で判断できるような指標を設定すべきと考える。仮に、成果指標を示さずそれぞれの取組が進むことで将来像に近づいているという説明であれば、それは単に手段が目的かしていることに過ぎないと思うので、成果指標の設定が必要と考える。</p> <p>・また、その成果指標も、現計画はほとんどが区民の意識割合となっており、それだけで将来像に近づいているという説明は無理があると思うので、もう少し具体化が必要と考える。当区の 5 年後が、もう少し明確にイメージできるようなビジョンになることを希望する。</p>	<p><現計画（将来ビジョン 2025）の評価・検証について></p> <p>・現計画（将来ビジョン 2025）では、各取組のアウトカム（成果）指標の目標年度を令和 7 年度としており、指標の数値確定は令和 8 年 3 月頃となるため、策定時点で最終的な効果検証結果を踏まえた改定を行うことはできませんでした。</p> <p>・一方で、各年度の取組の進捗や評価については、将来ビジョンの単年度アクションプランである「都島区運営方針」において管理・評価を行い、区政会議やホームページ等で報告しております。取組はおおむね順調に推進しており、方向性は妥当であると判断しています。</p> <p>・当ビジョンは、これまでの取組の成果や課題認識を踏まえ、方向性を継承しながら、今後 5 年間で重点的に取り組む施策を整理し発展させる観点から策定しております。</p> <p>・なお、将来ビジョン 2025 のアウトカム（成果）指標の達成状況については、数値確定後に区ホームページで公開し、区民の皆さまにお示しします。</p> <p><成果指標について></p> <p>・ご指摘のとおり、将来像の実現状況を客観的に把握することは重要であり、「成果」を意識したマネジメントが必要であると認識しています。</p> <p>・当ビジョンは、区の中期的な取組の方向性を示す計画として位置付けており、個別取組の評価指標や進捗管理は、将来ビジョンの単年度アクションプランである「都島区運営方針」において設定・管理・評価し、区政会議やホームページ等で報告してまいります。</p>

1

都島区将来ビジョン 2030（案）パブリックコメント結果と対応

	戦略	ご意見等	都島区の考え方
2	P11 区政の基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ・「4 つの柱」の相互作用が見えにくい、構造を可視化するべき。 ・ P 11 に示されている「4 つの柱」のチャートでは、それぞれの柱が独立した要素として並列に配置されており、相互にどのように作用し合いながら将来像を形づくるのが直感的に伝わりにくいと感じた。 ・実際には、防災・防犯・美化といった「安全・安心」の取組は、町会や地域活動を通じて「人がつながる」ことに直結しており、子どもを取り巻く支援環境や見守り体制も、地域コミュニティの力なしには成立せず、日常の暮らしの質や地域への愛着が、「誇り」や魅力の基盤となるなど、4 つの柱は相互に影響し合う関係にあると考える。 ・その意味で、柱が相互に作用する構造や、一つの取組が複数の柱に波及する関係性が、図や説明文として補足されることで、ビジョン全体の理解がより深まるのではないかと考える。 ・また、チャート中央に記載されている「めざすべき将来像を実現する4 つの柱」という表現についても、内容の繰り返しにとどまっておらず、特別な意味や方向性が読み取りにくい印象を受ける。中央には、例えば「区民一人ひとりの暮らしの質（Well-being）」など、4 つの柱が最終的に収束する目的を示す表現を置くことも一案ではないかと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、4 つの柱は互いに影響し合いながら将来像を形づくるものであり、その関係性を示すことは理解を深める上で重要であると考えております。 ・P11 の基本理念の説明文に、「ビジョンの4 つの柱がそれぞれにリンクし、相互に補完しながら、皆様とともに持続可能なまちづくりを進めていきます」と記載しておりますが、記載の図では柱の相互作用が伝わりにくいとご意見の趣旨を踏まえ、よりわかりやすい表記となるよう構造図等の記載を修正いたします。
3	区将来ビジョン 2030 の実現に向けて P24	<ul style="list-style-type: none"> ・官・民・区民による開かれた連携と、デジタルとアナログを組み合わせた実効的な情報設計が必要である。 ・官民連携の推進は重要である一方で、官と民の間に、区民や町会といった主体を明確に位置づける視点が、より強調されてよいのではないかと感じた。 ・特定の団体に限定されない、開かれた住民連携のあり方が示されることで、ビジョンへの共感と参画が広がると考える。 ・また、DX についても、デジタル化を進めること自体が目的とならないよう、デジタルとアナログを組み合わせた情報設計が重要。街角の掲示板など、通りがかりで自然に情報に触れられるアナログな手段を見直し、補完的に活用することも、有効な具体策の一つではないかと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、官民連携を進めるうえで、区民や町会など多様な住民を大切な担い手とすることが重要であり、共感や参加の広がりにつながると考えております。また、DX についても、デジタル化そのものを目的とせず、使う人の立場に立った工夫が必要と考えております。 ・本ビジョンでは、官民連携の中に住民との連携も含めて考えており、特定の団体に限らない柔軟な協力関係を想定しています。また、DX についても、デジタルとアナログを組み合わせ、誰もが情報に触れられるよう、今後、具体的な取組の中で検討してまいります。 ・また、区役所からの情報発信につきましても、発信内容やその対象に応じて、デジタル（ホームページや SNS）とアナログ（広報誌など）を組み合わせた多角的な広報を推進してまいります。 ・いただきましたご意見につきましては、今後の取組を進めていく際の参考とさせていただきます。

1

都島区将来ビジョン 2030（案）パブリックコメント結果と対応

	戦略	ご意見等	都島区の考え方
4	1 安全・安心のまち 【全般】 P13、P15～P17 2 人がつながり・いきいきと暮らせるまち 【2-1 コミュニティ豊かなまちづくり】 P18	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を前提とした町会・地域コミュニティの再定義が必要である。 ・防災・防犯・環境美化の取組については、町会（自治会）という生活圏に即した単位での活動が、きめ細かで実効性を持ちやすい分野だと考える。 ・一方で、核家族化の進行やライフスタイルの多様化に伴い、町会の加入率低下や加入者の高齢化といった課題が顕在化していることも、現実として踏まえる必要がある。 ・そのうえであえて提言したいのは、こうした課題があるからこそ、町会という単位を「過去の仕組み」として距離を置くのではなく、再定義しながら活かしていく視点。 ・日常的な見守りや災害時の初動対応、防犯・美化の継続的な取組は、行政や個人だけでは完結しにくく、顔の見える範囲での緩やかなつながりが不可欠である。負担を前提としない関わり方や、多様な参加形態を認める設計と組み合わせることで、町会は現在の社会状況にも適応し得る基盤になると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、核家族化の進行やライフスタイルの多様化に伴い、地域活動への参加意識が低下しており、人と人がつながる機会の提供や担い手不足の解消・負担軽減及び町会加入促進など地域実情に即したきめ細やかな支援などを行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営を推進する必要があると考えております。 ・具体的には、地域活動協議会において中心的な役割を担っている町会といった身近な生活圏域におけるコミュニティ活動への支援策として、「都島区町会加入促進アクションプラン」を策定し、町会と協働で取り組んでいます。 ・次に、ご指摘の顔の見える範囲での緩やかなつながりについても重要であると考えており、さまざまな取り組みを行っております。 ・具体的には、防災・防犯・環境美化の取組として、例えば、「新！都島クリーン作戦」では、町会での清掃活動への参加等、地域とのつながりを身近に実感できる機会づくりに努めています。 ・また、引き続き防災訓練や防災学習会を地域ごとに機会を設けることで地域の方々が助け合う「共助」意識の醸成を図ってまいります。 ・その他のご意見につきましては、今後の取組を進めていく際の参考とさせていただきます。
5	1 安全・安心のまち 【1-1 防災のまちづくり】 【1-2 防犯のまちづくり】 【1-3 安全で美しいまちづくり】 P15～P17	<ul style="list-style-type: none"> ・KPI の量的指標と実感的指標の併用が必要である。 防災訓練：参加者数のみでなく、回数・対象者・参加率 防犯：犯罪件数と具体的対策との対応関係 美化活動：活動内容や対象範囲が分かる補足指標 などを併せて示すことで、「町会・地域コミュニティを軸とした安全・安心」がどの程度機能しているのかが、より分かりやすくなるのではないかと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本ビジョンに記載の各事業の参加者数や犯罪の発生件数等は、「安全・安心のまち」を実現していくための具体的取組に関わる状況等を参考として掲載したものであり、個別取組の評価指標や進捗管理は、将来ビジョンの単年度アクションプランである「都島区運営方針」において設定・管理・評価し、区政会議やホームページ等で報告してまいります。 ・いただきましたご意見につきましては、今後の取組を進めていく際の参考とさせていただきます。

1

都島区将来ビジョン 2030（案）パブリックコメント結果と対応

	戦略	ご意見等	都島区の考え方
6	2 人がつながり・いきいきと暮らせるまち 【全般】 P13、P18～P19	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性と包摂を前提とした地域連携が必要である。 ・人と人とのつながりや見守りについては、世代間に限らず、国籍・言語、障がいの有無、生活背景などの多様性を前提とした住民像が、より明確に示されることが望ましいと感じる。 ・また、町会や地域活動についても、従来型の参加を前提とするのではなく、関われる範囲や関わり方に幅を持たせることが、結果として新たなつながりや包摂につながると考える。 ・KPI については、閲覧数や相談件数といった量的指標に加え、住民が「つながっている」「孤立していない」と感じられているかといった実感が近い評価軸を補助的に取り入れることで、施策の成果がより具体的に伝わるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、地域にはさまざまな特性や背景を持った方が暮らしています。このように多様な人々が暮らす地域で、だれもが自分らしく安心して暮らすことができるように、相談支援体制の充実や見守り活動の強化等を図っています。引き続き、だれもが排除されることなく、人と人がつながり、支え合うことができるような地域づくりを進めてまいります。 ・また、町会や地域活動においても、ライフスタイルの多様化に応じた関わりが可能となるような支援は必要であり、多様性や包摂性のある地域コミュニティの促進にもつながると考えております。引き続き、地域の実情やニーズに即したつながりの育成、支援に取り組んでまいります。 ・個別取組の評価指標や進捗管理は、将来ビジョンの単年度アクションプランである「都島区運営方針」において設定・管理・評価し、区政会議やホームページ等で報告してまいります。 ・いただきましたご意見につきましては、今後の取組を進めていく際の参考とさせていただきます。
7	3 子どもが輝くまち 【全般】 P14、P20～P21	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く環境全体の整備として捉える視点が必要。 ・「子どもが輝く」ためには、子ども本人だけでなく、家庭・学校・地域が安心して機能していることが前提となる。 ・町会や地域コミュニティは、子どもと大人、家庭と社会を緩やかにつなぐ役割を果たし得る存在であり、子育て世帯が孤立しにくい環境づくりにも寄与すると考える。 ・KPI についても、アンケートの市平均との差や一部事業の結果指標勘違いだけでなく、参加の広がりや継続性、保護者・子ども双方の実感を補足的に捉える視点が加わることで、「子どもが輝く」という言葉の中身が、より具体的になるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、子どもを取り巻く環境全体を整備するという視点は重要であり、「子どもが輝く」ためには、子ども本人への支援に加えて、家庭・学校・地域が不安なくそれぞれの役割を果たせることが前提であると考えております。 ・また、町会等をはじめとする地域コミュニティは、子どもと大人、家庭と社会を緩やかにつなぎ、見守りや声かけ、居場所づくりなどを通じて、子育て世帯が孤立しにくい環境づくりに寄与すると考えております。区としては、ビジョンに掲げる 4 つの柱が相互に補完しながら、関係機関・地域等との連携・協働を進め、家庭・学校・地域が一体となって子どもを支えるまちづくりを推進してまいります。 ・本ビジョンに記載のアンケートの結果については、「子どもが輝くまち」を実現していくための具体的取組に関わる状況等を参考として掲載したものであり、個別取組の評価指標や進捗管理は、将来ビジョンの単年度アクションプランである「都島区運営方針」において設定・管理・評価し、区政会議やホームページ等で報告してまいります。 ・いただきましたご意見につきましては、今後の取組を進めていく際の参考とさせていただきます。

1

都島区将来ビジョン 2030（案）パブリックコメント結果と対応

	戦略	ご意見等	都島区の考え方
8	4 明日に誇れるまち 【全般】 P14、P22～P23	【今日の暮らしの積み重ねとしての誇り】 ・誇りは将来に突然生まれるものではなく、今日の暮らしの中で育まれるものだ考える。 ・町会や地域活動も、目立つイベントだけでなく、日常の小さな積み重ねを支える存在として評価されることで、「誇れるまち」の実感につながるのではないかと。 ・また、「にぎわい」だけでなく、落ち着きや暮らしやすさも含めた多様な魅力を認め、 魅力を育てる（地域の活動・環境） 魅力を伝える（広報・発信） という二本柱で整理することが、より納得感のある構成になると感じる。	・ご指摘のとおり、誇りは日々の暮らしや地域の地道な活動の積み重ねによって育まれるものであり、町会等の身近な取組や、にぎわいだけでなく落ち着きや、住みやすさも地域の魅力として捉える考え方は重要であると考えております。 ・本ビジョンでは、日常の取組で生まれる魅力と将来へのつながりを一体として示すため、表現を整理しています。今後、具体的な取組を通じて、「誇れるまち」につながることを伝えてまいります。 ・また、区民の満足度・幸福度の向上やまちの魅力の創出、育成、醸成を目的に、長期的な視点で区の将来像を示す「都島区まちづくりビジョン 2040（都島区将来ビジョン別冊）」の策定を進めています。本ビジョンはまちに関わる多様な立場の人々がこれを共有し、同じ方向を向いてまちづくりを進めていくための指針となるものとして策定する予定です。 ・ご意見の趣旨を踏まえ、よりわかりやすい表記となるよう、本ビジョンの取組の名称【4-2 区の魅力創出】を【4-2 区の魅力創出・発信】に修正いたします。 いただきましたご意見につきましては、今後の取組を進めていく際の参考とさせていただきます。
9	4 明日に誇れるまち 【4-1 にぎわいと魅力あるまちづくり】 P22～P23	・大川の川沿い特に桜ノ宮橋あたりを綺麗にしてくれたらいい。ピクニックしやすくしてくれたら良いと思う。 ・京橋駅がすごく栄えてくれたら良いが。京阪に頑張ってもらえないと思う。	・いただきましたご意見につきましては、引き続き関係機関と共有するなど連携をはかりながら、にぎわいと魅力あるまちづくりに取り組んで行く際の参考とさせていただきます。